

# 総務委員長報告

議案1件を原案可決

(下田利春委員長)

## 【議案第43号】平成30年度南島原市一般会計補正予算(第2号)

(総務部関係)

**質疑** 本会議において、繰上償還の質疑の中で、自転車操業になるのでは、との表現があったが、実際そのようなのか。

**答弁** そういう認識は持っていない。逆に、若しくなる前に繰上償還を行い、今年少し余分に返して、来年返す分を減らし、来年増える分をカバーできるとの考えである。

**質疑** 自転車操業ということではなく、市当局は計画の中の財政運営でやっているのと、認識していいのか。

**答弁** そういうふうに考えている。本会議でそこまで答弁をしなかったのは、申し訳なかったと思う。

**質疑** 長崎県は黒字で正常だとの報道があったが、南島原市が突出して

いたという16億円についての説明を。

**答弁** 新聞記事の数字であるが、これは剰余金である。29年度決算の余った金で、今回繰上償還を8億、繰り越しに8億使ったという部分である。

**質疑** 島鉄跡地の草刈り代についての説明を。

**答弁** 1,000万円は当初予算で認めてある。その中の300万円を使って、まず、一回草を切るということである。



現在の島鉄跡地

(企画振興部関係)

**質疑** 原城が世界遺産になった重要性はわかるが、観光利用に一生懸命に力を入れている。史跡・

遺跡は大事だが、観光に利用して活性化に役立てようとしていると捉えてよいか。

**答弁** 世界遺産登録になり、観光がメインというわけではなく、歴史的価値を後世に伝え、大事に守っていく中で、地域おこしに役立てていきたい。

**質疑** 地域おこしとは具体的にどういうことか。

**答弁** 世界遺産になったことで、来訪者が増える。



上空から見た原城跡

る。原城を守りながら、その周辺の対応を、来訪者にいかに満足していただけか、できるだけのことを行っていく。

**質疑** 3斤舎で、WiFiのサービスをするとのことだが、どのようなサービスをするのか。

**答弁** 基本的に市役所で使用する場合、ネット規制をかけているが、今の市のネットワークは、別の所と契約して無料で開放するので、ネット制限はかけていないが、使えばなしにならないように、タイマーで、20分切れるようにする。

**質疑** 原城温泉真砂の予算の総額は。

**答弁** 3,100万円である。

**質疑** 修理や備品購入費については、100万円以下は真砂自身で、100万円以上は市がする。利益が出たら市へ還元しているが、市がそれをもたらさないで、真砂のことは真砂の中で対応するという考えはないのか。

**答弁** それも一つの考え方だと思うが、指定管

理先は、市が100%出資の原城振興公社である。利益をそのまま残して改修等に対応してもらうとの事だが、指定管理は5年間になっており、5年間が切れて違うところに指定管理が移る問題もあり、取り扱いについては、まだ今後検討していかなければならない。



原城温泉 真砂

**質疑** 今回、法面の崩落発生調査を行うために、一般財源から出されているが、法面の崩落が起きて修理が必要な場合、国から何かの予算処置はないのか。全部一般財源でやるのか。

**答弁** 法面が長い範囲にわたって崩落している。今回は、調査に対しては追加財源で調査させていただき、後の法面の整備の復旧工事については、国の補助事業が50%、県が20%、残りの30%を過疎債や合併特例債を活用し、一般財源からの支出が少なくなるような形の手法で行っていく。

**質疑** 原城跡の観光ガイドを利用するときの方法は。

**答弁** 土曜・日曜は、ガイドが原城本丸に待機されており、ワンコインでその場でガイドを受けられる。平日は、ひまわり観光協会が受け付けて



原城跡法面崩落現場